

国土交通省  
**管理職ユニオン**

NO. 228  
2014.6.30

発行 国土交通省管理職ユニオン  
所在地 東京都千代田区霞ヶ関 2-1-2 中央合同庁舎 2号館  
TEL 03-3509-1138  
Eメール k-union@alpha.ocn.ne.jp  
ホームページ http://www7.ocn.ne.jp/~k-union

# 管理職員の健康と生活破壊を防ぐ超勤規制とパワハラ撲滅を！

管理職ユニオン各支部では、5月17日～18日の全国大会終了後、定期大会を開催しています。今号で大会の報告をします。

## 震災前の2倍の予算 なんと1兆3675億円 東北支部

東北支部は6月7日(土)、仙台市「生涯学習支援センター」において、第16回支部大会を開催しました。大会には、本部から中山事務局次長、



国交労組東北建設支部から田中副委員長を来賓に招き、役員、代議員など14名の出席で進められました。大会の議論は、危機管理体制やそれに伴う手当の問題、震災復興と職場での健康破壊の問題などに集中し、今後、地方切り捨ての給与制度を許さない運動とともに、心と身体の健康を求めて、職場の「ダークル光」を当てる運動を強化すること、組織も大きく増やすことを確認し、新役員を選出して成功裏に終了しました。

東北支部役員

役名	氏名	勤務先
執行委員長	堀井 寿	秋田河川国道事務所
副執行委員長	武田 恒弘	郡山国道事務所
〃	大槻 金二	専従(週2日以上)
事務局長	加藤 桂一	酒田河川国道事務所
事務局次長	藤原 孝徳	新庄河川

## 厳しい職場実態に議論が集中 北陸支部

北陸支部は6月7日定期大会を、代議員22名の参加で開催しました。議論は、再任用問題(能力・経験を生かす活用がされていない。防災体制は再任用者を体制に入れ経験を



生かしてもらおうべきだ。そうでないとやりきれない。必要なら勤怠予算を確保すべき。フルタイム採用実現などは、心の病が多い。職員が多い。空きポストが多い。それなのに定員を余らせているのは問題だ。出張所は現場に出れば留守になることが多い。これで地域のためにならなっている。車も足りない。職種間交流が行われているが、慣れるまで個人に負担がかかれば、業務の円滑化からすればこういう人事でよいのか。等厳しい職場実態が出されました。

国土交通省管理職ユニオン北陸支部 役員名簿

役職	氏名	所属
執行委員長	高橋 昭一	阿賀野川河川事務所
副執行委員長	河瀬 幸一	専 従
〃	土肥 和広	富山河川国道事務所
〃	島尻 清昭	高田河川国道事務所
〃	山本 敏一	飯豊山系砂防事務所
〃	金子 雄司	新潟国道事務所
事務局長	羽深 圭一	羽越河川国道事務所
事務局次長	喜多 昇	信濃川下流事務所
〃	原 俊彦	信濃川下流事務所

## 図面3枚で5億円の工事。地元周知せず総入 中部支部

2014年度 ユニオン中部支部役員

役職名	氏名	分会名
委員長	竹内 寛幸	天谷
副委員長	鈴木 喜平	静河
	江間 裕志	天竜上
	作田 豊彦	北勢
	川地 幸弘	木曾上
	松井 正己	浜松
事務局長	海野 鐘弘	庄内川
事務局次長	大矢 健司	木曾下
	小幡 豊	多治見

● 補正の概数発注で、図面三枚で5億円の工事を発注した。出張所は、設計調整・地元調整で大変に苦労した。国策とは言え、これでは地元で工事の品質を保証出来ない。必ず地元の理解が得る事が大切。

● 昨年度、事務所に強力な額の補正がつけられ、出張所に多くの工事が組まれた。もちろん地元への周知も無かったため、地元からは総スカンを食らった。補正を付けるには地元の理解が必要。

● 大会では、予算消化第一主義の公共工事の「乱発」による職場の実態、コンプライアンス無視まがいの業務執行について以下のような発言が出されました。

● 近畿支部は5月31日、名古屋市内において、第17回定期大会を開催しました。大会には代議員、役員、来賓など24名が参加し、活発な討論で一年間の運動方針が採択されました。



## 空洞化する職場実態の報告 近畿支部



● 役員など五四名が参加し、一年間の運動方針について、総括と今後一年間の運動方針・組織方針について議論し、諸方針を満場一致で採択しました。

● 大会では以下のような意見が出されました。

● 河川の課だが、長距離通勤や病気休暇で機能できていない。官ポストが応援している。

● 長期休暇から復帰するときに、元の所に戻ると状況は同じなので変える必要がある。また復帰前にお試し期間があるが、通勤手当は出ないので、遠方では交通費負担も大きい。ようやく六級昇格したが、ほとんど所得は増えないうえに、月々の給与は減額した。

